

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブ（新松戸南校）・児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 5日		令和6年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 5日		令和6年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個の対応に重点を置き、振り返り等を利用時に丁寧に実施できること	・個々の情報、日々の細やかな様子をスタッフ間で常に共有している	・要点を絞って情報共有ができるよう工夫していく
2	・楽しく療育に取り組めるように環境や支援内容で工夫をし細やかなニーズに対応していること	・教室の内装から支援を終えるまで一貫して楽しい雰囲気を提供している	・丁寧なヒアリングを何度も行い、ニーズを追求していく
3	・人員の定着率の高さから、安心感が得られること	・企業理念の共有理解の機会を多く設けている ・熱意のあるスタッフが多数在籍している	・マンパワーに頼らないための組織体制作りを検討する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・マニュアルや訓練の周知徹底には至っていないこと	・周知したつもりになっている可能性がある	・いつ、誰が見ても分かりやすい掲示物の管理
2	・活動スペースの確保と人員動線が完全には整備されていないこと	・構造的な問題が大きい ・慣れによる危機管理の甘さ	・必要に応じて修繕をおこなう ・見通しを立てた上での人員動線を検討する
3	・家族に対する支援の機会が少ないこと (ペアレント・トレーニング等の理解と知識を深めること)	・個の対応に重点を置くことを優先した結果後手に回っている可能性がある	・全員が当事者意識を持ち、積極的に家族支援に携わることができる機会を増やす